

# がん検診等のご案内

早期発見が、あなたの **命** を救います。

会社などでがん検診等の受診機会の無い方を対象に各種検診・検査を行っています。



出典：公益財団法人がん研究振興財団 がんの統計'22

●ステージの説明

I：がん腫瘍は広がるが筋肉層でとどまっている

II：がん腫瘍は筋肉層を超えて広がり、

リンパ節に少し届くことも

III：がん腫瘍はさらに広がり、リンパ節に転移する

IV：がん腫瘍は元にあったところから

離れた別の臓器へ転移する

※1 治る(=治療)とは、5年相対生存率のことを指します。

相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた

数値です。

出典：全国がんセンター協議会の生存率協同調査

(2011～2013年全症例)



次の方は無料で受診ができます！ 受診する際は、医療機関窓口にて各種証明書のご提示をお願いしております。

| 対象者                               | 証明書  |
|-----------------------------------|--|
| ①70歳以上の方<br>(年度中に70歳になられる方も含みます。) | 健康保険証等の年齢の分かるもの  |
| ②市・県民税非課税世帯(世帯全員が非課税)の方           | 非課税証明書(令和5年度受診の場合、同一世帯で平成19年4月1日以前生まれの方全員分)(※1)<br>または、最新の介護保険料納入通知書(保険料段階が1～4のもののみ)(※2) |
| ③生活保護受給者の方                        | 「被保護証明書」または「生活保護決定通知書」   |
| ④中国残留邦人等支援給付受給世帯の方                | 「本人確認証」及び「支援給付受給証明書」(受給期間が含まれるもの)  |

※1 非課税証明書は市税事務所市民税課・市税分室管理担当または、区役所・支所市税証明発行コーナーで発行しています。(有料)

※2 「介護保険料納入通知書」については、65歳以上の方に限ります。また、再発行ができません。紛失等の場合は、非課税証明書を提示してください。

## 受診までの流れ

### ① 医療機関を選ぶ

市内登録医療機関名簿から受診する医療機関を選びます。

(登録医療機関は市のホームページで「がん検診」と検索するか、右の二次元バーコードをご利用ください。)

〈医療機関名簿〉



### ② 予約・問合せをする

受診したい医療機関に電話等で予約・問合せをします。連絡の時に必ず「川崎市の●●がん検診の受診を希望」と伝えます。

### ③ 受診当日

持ち物

- ・年齢・住所が確認できるもの
- ・自己負担が免除される方は各種証明書(※上記参照)

※コールセンターで予約はできません。

※予約から受診までに日時を要する場合があります。また、医療機関によって予約方法が異なります。



## 受診・検診(健診)控えは危険です！

医療機関や検診会場は新型コロナウイルス感染対策に細心の注意を払っていますので安心して検診をご受診いただけます。あなたとあなたの大切な人のいのちと健康を守るために必要な治療や検診は必ず受けてください。



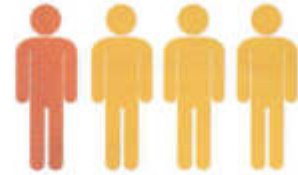
# 知っていますか？がんのこと

2人に1人が  
一生のうちにがんにかかる



死亡原因第1位

4人に1人が  
がんで亡くなる



令和元(2019)年時点で、がん患者の約4人に1人は、  
20歳から64歳までの間にがんにかかっています。

ですが、がんは**早期に発見し適切な治療を受ければ**

**治癒率の高い病気**でもあります。

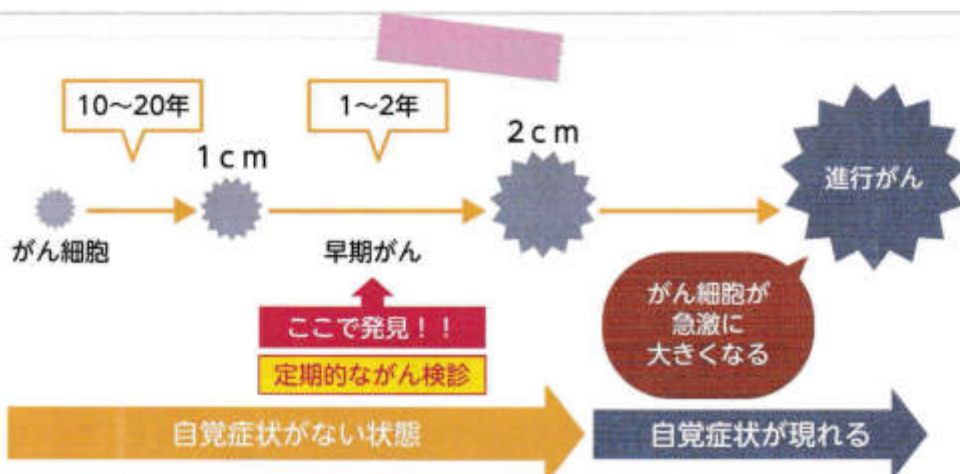
出典：「がんの統計'22」年齢階級別罹患リスク(2018)「令和3年(2021)人口動態統計月報年計」死亡数・死亡率(人口10万対)、性・年齢(5歳階級)・死因単位別 平成31(令和元年)全国がん登録罹患数・率報告

## 5年相対生存率

|               | 肺がん   | 胃がん   | 大腸がん  | 子宮頸がん | 乳がん    |
|---------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| I期<br>(早期がん)  | 85.6% | 98.7% | 98.8% | 93.6% | 100.0% |
| IV期<br>(進行がん) | 7.3%  | 6.2%  | 23.3% | 26.5% | 38.8%  |

※相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。  
出典：全国がんセンター協議会の生存率協同調査(2011~2013年)

ただし、**がんは初期の段階では自覚症状がなく、**  
自覚症状が出てからでは、**大きく生存率が下がってしまいます。**



早期発見のカギは  
がん検診の  
定期的受診!



出典：公益財団法人日本対がん協会「がん読本」





# がんについて知るう!



## 肺がん

肺がんは、死亡数が男女合わせて1番多いがんです。

男性 **1位** 女性 **2位**

出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(厚生労働省人口動態統計) 全国がん死亡データ(1958年~2021年)

初期には自覚症状がほとんどないのが、肺がんの怖さです。

とくに肺の奥にできるがんほど、咳や痰などの症状が出にくく、気づきにくいのが特徴です。

喫煙者は非喫煙者と比べて男性では4.4倍、女性では2.8倍肺がんになりやすく、喫煙を始めた年齢が若く、喫煙量が多いほど肺がんになる危険性が高くなります。

また、受動喫煙(周囲に流れるたばこの煙を吸うこと)も肺がんになる危険性を2~3割程度高めるといわれていますが、喫煙していない人や受動喫煙の影響を受けていない人でも肺がんになることもあります。

出典:国立がん研究センターがん情報サービス

## 大腸がん

日本では、毎年約15万人が大腸がんにかかり、約5万人が亡くなっています。

大腸がんの治療は、発見が早いほど負担が少なく済みます。しかし、初期の大腸がんは自覚症状がないため自身で気づくことは難しく、定期的に受診を行わなければ早期発見はできません。

出典:国立がん研究センターがん情報サービス(全国がん登録) 全国がん登録罹患データ(2016~2019年)

出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(厚生労働省人口動態統計) 全国がん死亡データ(1958年~2021年)

## 胃がん

早期の胃がんは、自分ではまず気づきません。

早期の胃がんであれば、内視鏡でがん細胞のみを摘出することができ、胃を摘出せずに済みます。ただし、早期の胃がんは自覚症状がないことが多く、あったとしても胸やけ、吐き気、食欲不振など、「今日はちょっと調子が悪いか」と思うような軽いものです。

早期発見するためには、専門家による検診を定期的に受けることが大切です。

## 子宮頸がん

女性が一生に一度は感染するウイルスによって発症するがんです。

子宮頸がんとは、子宮の入口「頸部」にできるがんのことで、原因の多くはHPV(ヒトパピローマウイルス)感染です。ごくありふれたウイルスで、多くの女性が一度は感染すると言われています。HPVに感染したとしても、必ずしも子宮頸がんを発症するわけではないですが、子宮頸がんは進行すると、子宮摘出手術が必要となる場合もありますので、2年に1回の定期的な検診が大切です。

子宮頸がんは20代から急増するがんです。「まだ大丈夫」の油断は禁物です。



出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録) 全国がん罹患データ(2016年~2019年)

令和4(2022)年4月1日から令和7(2025)年3月31日まで、勧奨通知の発送が差し控えられていた世代(※)のみ、キャッチアップ接種として、公費でHPVワクチンを接種することが可能です。下記リンクから市ホームページを御覧ください。

※平成9(1997)年4月2日から平成18(2006)年4月1日に生まれた女性のみ対象です。



## 乳がん

40~60代前半女性のがん死亡率NO.1は乳がんです。

日本人女性の9人に1人が乳がんにかかると言われており、特に40~60代がかかりやすい年代で、年間約15,000人が乳がんによって亡くなっています。ご自宅でも行えるセルフチェックに加え、2年に1回の定期的な検診受診が大切です。

出典:「がんの統計'22」部位別がん死亡数(2020年) 年齢階級別がん死亡 部位内訳(2020年) 年齢階級別罹患リスク(2018年罹患・死亡データに基づく)



## 検診等の詳しい内容

実際にかかる費用  
(大腸がんの場合で5,000円前後)よりも  
安く受けることができます。

| 検診名                | 内容  | 対象者 <sup>*1</sup>            | 受診回数                 | 費用  |
|--------------------|---|------------------------------|----------------------|---|
| 肺がん検診              | 問診、胸部エックス線検査  | 40歳以上                        | 1年度に1回               | 900円<br>(かく痰検査 <sup>*2</sup> は+200円)  |
| 大腸がん検診             | 問診、免疫便潜血検査  |                              |                      | 700円  |
| 胃がん検診<br>(エックス線検査) | 問診、胃部エックス線検査  | 40歳以上                        | 1年度に1回 <sup>*3</sup> | 2,500円  |
| 胃がん検診<br>(内視鏡検査)   | 問診、胃内視鏡検査   | 50歳以上                        | 2年度に1回 <sup>*3</sup> | 3,000円  |
| 子宮がん検診             | 問診、視診、頸部の細胞診、内診<br>コルポスコプ検査 <sup>*2</sup><br>体部の細胞診 <sup>*2</sup> | 20歳以上の女性                     | 2年度に1回 <sup>*4</sup> | 1,000円<br>(体部細胞診検査 <sup>*2</sup> は+800円)                                    |
| 乳がん検診              | 問診、マンモグラフィ検査  |                              |                      | 40歳以上の女性  |
| 骨粗しょう症<br>検診       | 問診、骨量測定<br>(医療機関によって測定方法が異なります)                                   | 40・45・50・55・<br>60・65・70歳の女性 | 対象年齢時に1回             | DXA法による腰椎測定:1,100円<br>MD法・SXA法・pQCT法<br>DXA法のうち腰椎以外の測定<br>超音波法:600円<br>700円 |

〔年度〕とは、4月から翌年3月までの期間を指します。

※1 対象は年度内に対象年齢になる人を含みます。ただし、骨粗しょう症検診は満年齢期に受診が可能です。

現在それぞれの部位で治療中・経過観察中の方は対象外となる場合がございますので、かかりつけの医師等へ御相談ください。

※2 各検査は医師が必要と認めた場合のみ受診できます。

※3 胃がん検診エックス線検査と内視鏡検査は選択制です。

胃内視鏡検査を受診した翌年度は、胃内視鏡検査も胃部エックス線検査も受診できません。

※4 前年度に受診していない方が対象です。

## 《適切な間隔で定期的な検診受診が大切です！》



検診の精度は100%ではなく、がんでないのに「要精密検査」と判断される場合や、1回の受診で「がん」と診断できない場合があります。ただし、定期的な検診受診によりがんを発見できる確率は高まります。そのため、がん検診は単発の受診ではなく、適切な間隔で受け続けることが大切です。

●検診で「要精密検査」となった場合は、その後必ず精密検査を受けてください。

●がん検診で「異常なし」と判定されても、気になる症状がある場合は、早めに医療機関を受診してください。

## その他の検診

| 検診名              | 内容        | 対象者   | 費用   |
|------------------|-----------|---|------|
| B・C型肝炎<br>ウイルス検査 | 問診、血液検査   | 平成20年度以降に川崎市が実施する<br>肝炎ウイルス検査を受けていない市民<br>★協力医療機関に直接お申込みください。 | 無料   |
| 歯周疾患検診           | 問診、歯周組織検査 | 40・50・60・70歳の市民<br>(年度内に対象年齢になる方)<br>★対象の方には、個別に受診券を発送。(7月頃)  | 900円 |

※上記以外に、追加で費用がかかる場合があります。その場合、詳細は受診した医療機関にご確認ください。

## お問い合わせ

がん検診・骨粗しょう症検診・歯周疾患検診に関しては  
「川崎市がん検診・特定健診等コールセンター」

TEL 044-982-0491

平日 8:30~17:15 第2・第4土曜日 8:30~12:30

※祝日、年末年始は除きます。通常の通話料がかかります。

健康増進担当 Fax 044-200-3986

詳しくは



B・C型肝炎ウイルス検査協力医療機関は  
こちらから検索できます。

感染症対策担当

TEL 044-200-2441

Fax 044-200-3928

平日 8:30~17:15



肝炎